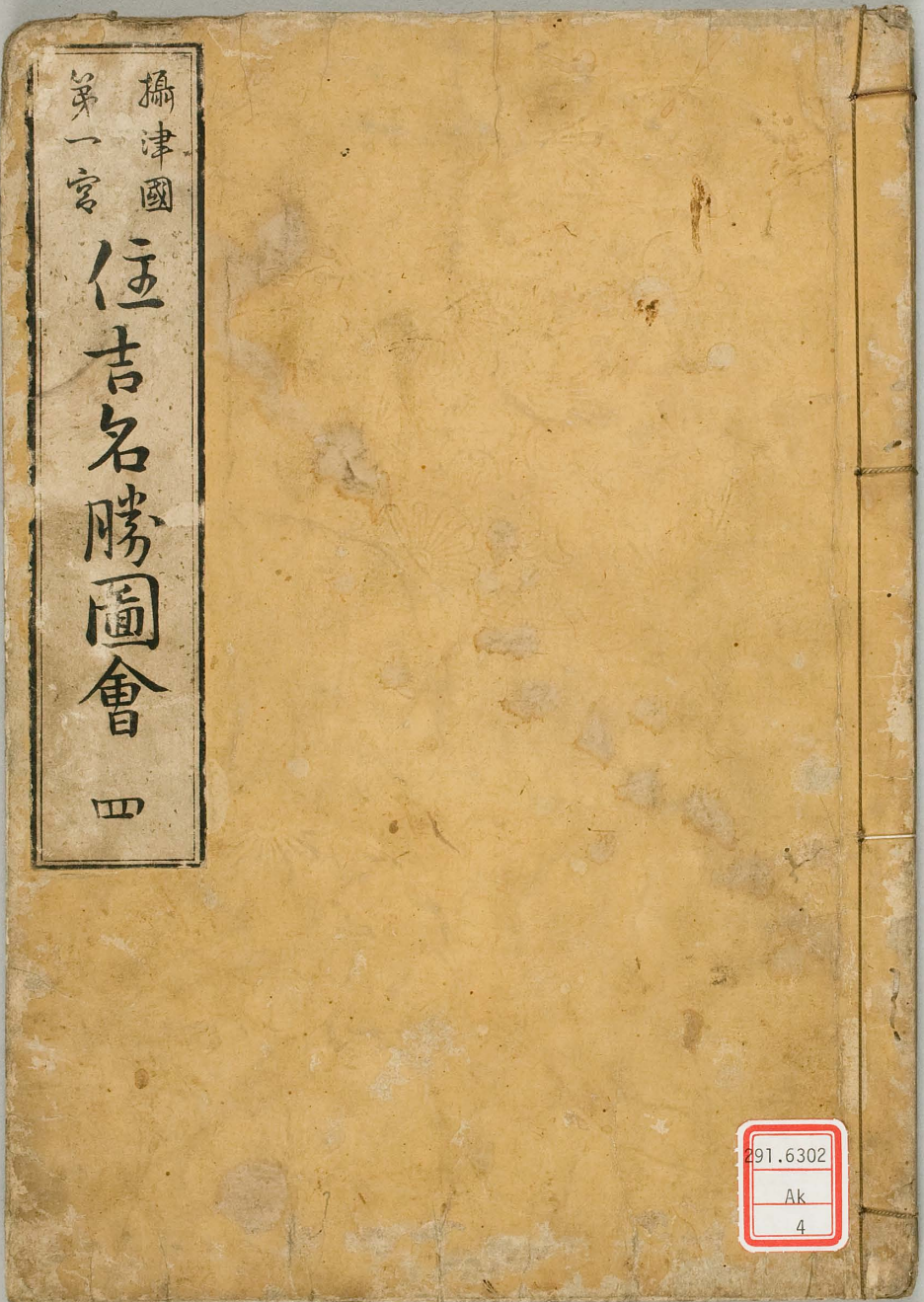
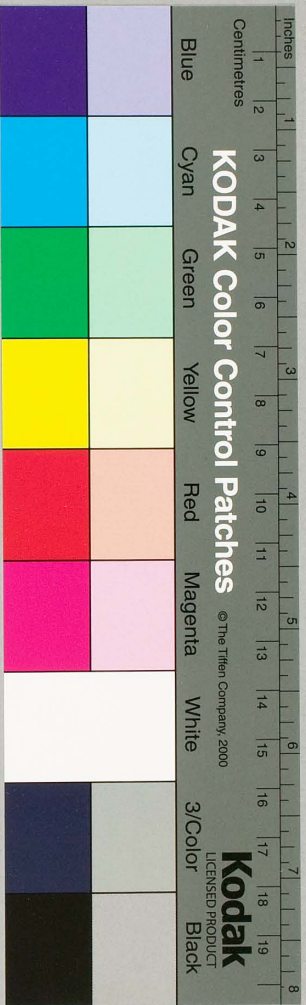


0411



攝津國
第一宮

伍吉名勝圖會
四







住吉名勝圖會卷之四目錄

○住吉攝社

正印殿之圖

船玉社

立木之松圖

后土社

五所御前

苗見社

大海神攝社

國基社

鉾御前

海人子社

立聞社

惣社

侍臣御前

神樂所

奧天神社

大歲社

楯御前

御井社

貴船社

若宮八幡社

子安社

大海神社

國助社

新宮社

若松社

鳥井

○ 住吉名所

住吉濱

住吉里

住吉岡

淺澤

長居里

長居濱

名吳繼橋

履石

神木橋

住吉浦

住吉水門

住之江

淺澤小野

長井池

長居瀉

名吳入江

及橋

誕生石

住吉岸

住吉沖

住之江池

淺澤沼

長居浦

名吳浦

名吳海

名吳濱

朴津海

敷津

淺香浦

名越濱

御田

依羅里

出見濱

粉冊野

鵲之橋

名吳門

津守浦

敷津浦

淺香瀉

名越森

細江

依羅原

玉出島

楯ヶ寄

岸野

朴津

津守沖

三三之洲

細子海

遠里小野

依羅池

依羅森

粉濱

往合橋

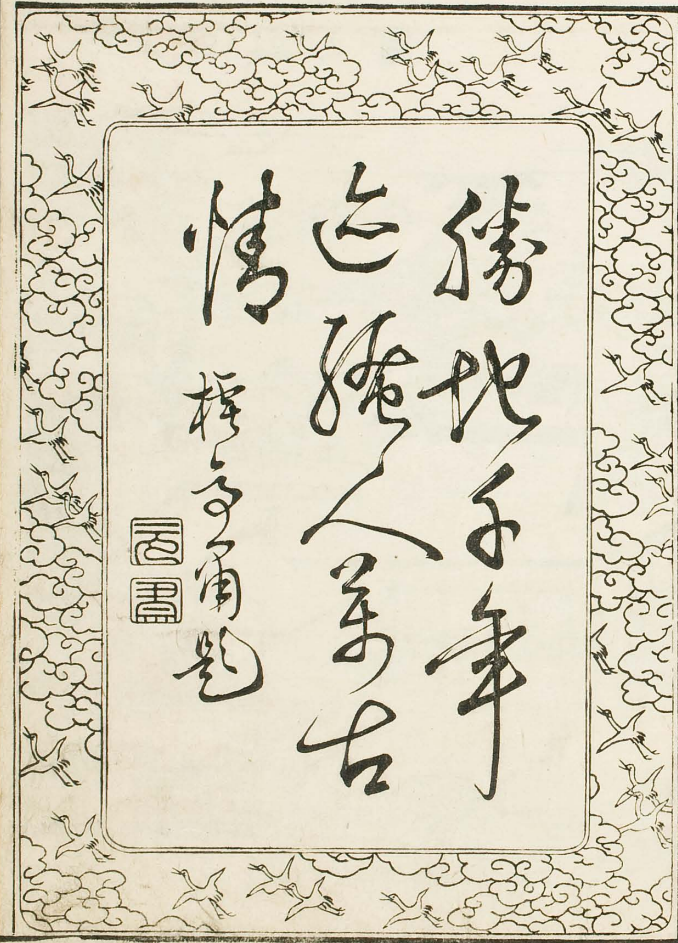
岸田

霞松原
岸松原
忘州
小町茶屋
富士古跡

以上

住吉淵
忘貝
便宜水
赤松
行基松

安倍野
忘水
判官松
松榮亭





正印殿之図



鉾御前

三之神殿の北有 鉾之社と云祭神経津主命 下総國香取

相殿は廣田明神也

楯御前

四之神殿の南有 楯之社と云祭神武甕槌命 常陸國鹿島

○延喜式神名帳に楯原神社と云り見て鉾の社事見たり 大巳貴と祭りと云 楯の社事代主と云たり 添と云俗又傳

船王社

楯御前の前 祭神天鳥船命 猿田彦大神 鹽土老翁

當社荒魂

延喜式神名帳に 船王神社と云り

海人子社

井垣の外 祭神市杵島姫 又曰葦不合尊 玉依姫と云

一説は葦不合尊と祭る故と 以て海人の社と云ふ

御井社

海人子社の南有東向の 祭神彦火火出見尊 豊玉姫 御社也 竜宮と云

立木松の圖



立間社

神田の傍住江山有西向御社也

祭神祝主御神也是則

經津主命之別号也

大和國春日社八第二天兒屋根命第二姬御

○立間ハ立本也當社の神主大神ニて出仕の時冠住江殿ニ入り殿の前ニ松樹と植也是と立本の松といふ此事當社の秘事なり此神本ハ沢祭り奉る御社にんを其名とて立本社といふなり丁々五音相通いふと本と句句と誤り奉る古書ニ明白に立間ハ立句句なり

貴布祢社

住江山の下ニ有

祭神罔象女相殿ニ龍神と祭る

此神雨を日和をよ

后土社

南神館ニ鄰り

祭神保食神

神主の館内ニ神あり其名と

惣社

神供所御殿

祭神保食神

或ハ三十二神と祭る云

御倉明神と稱し奉る惣ハ倉なりといふ

若宮八幡社

一之神殿の南有

祭神應神天皇相殿ニ武内宿禰と祭る

五所御前

右同

高間原ニ云當社の深秘なり祭神知りか

一説ハ五代地神代祭りも又説ハ八百萬神と祭る云

國盛社

若宮の後

神主國盛

國守大明神と云當社大神の荒魂なり

市惠比須社

一之本社の後併の

祭神事代主命

おむとの社

神樂所の後

祭神田家見宿禰

市姫

子安社

井垣の外ニ有

祭神田家見宿禰又曰高皇產靈尊

神皇產靈尊

天御中主尊乃三神と祭る云い入り

苗見社

三の神殿の北井垣の外

祭神宇賀御魂

延喜式神名帳ニ多木の神社と有

則苗見社なりといふ寺岡のほうふといふ

神樂所

東鑑云元曆二年二月二十九日住吉神社津守長盛參洛經奏聞去十六日當社行恒例御神樂之間及御神樂之鑄出自氣三神殿指西方行此間奉仕追討御祈靈驗掲焉者歟云云
平家量于讃岐國志度道場九郎義經追討之時也



四ノ四

大海神社

神宮寺の北隣西向の社也

祭神豊王彦豊玉姬

延喜式神名帳云大海神社二座元津守英神有

大海神社

社内西北の角有南向の社也

号志賀大明神祭神底津少童

中津少童表津少童

棟一うて扉三あり○志賀大明神の三神ハ彦火出見尊豊王彦豊玉姬なり云

奥天神社

大海神社の北隣南向の社也

祭神少彦名命

延喜式神名帳云奥天神社あり

○文明十四年十二月廿四日天満宮と祭る是社社の西江梅殿と号し小社なり

國助社

神宮寺の内より有

津守國助とす

國基社

浄土寺の内より有

津守國基とす

大歳社

細江の南より有

祭神素戔嗚尊之御子太歳神

延喜式神名帳云草津太歳神社有

新宮社

本社辰巳津守寺の南より有南向の社なり

祭神事解男速王男伊弉諾尊

伊弉册尊

又一神わり深秘とて言難

止^と比^ひ上^{かみ}の^の神^{かみ}
賣^う命^{めい}神^{かみ}
社^{やしろ}あり



若^わ松^{まつ}社^{やしろ}
本^{もと}社^{やしろ}あり
丁^{ちやう}形^{がた}已^い
堅^{かた}の中^{のちゆう}に
東^{とう}向^{むかひ}の^の社^{やしろ}
祭^{まつり}神^{かみ}
素^す尊^{みこと}
鳥^{とり}尊^{みこと}
稻^い田^{でん}姫^{ひめ}
延^{えん}喜^き式^{しき}神^{かみ}
名^な帳^{ちやう}あり



方違社 艘松社 如意御前 甲明神社 三村社

右之五社ハ堺之部ニ見ユ

龍王社 星宮 大依羅神社 山坂社 三百歩社

八祖神社 葺不合尊社 蛭児神社 火闌降命神社

右之數社祭神繪圖後編ニ出ル

履石 神館殿の土俗の説云む 相應和尚登天の時履の留

反橋 神代高橋の遺製なり 天照太神 高皇產靈尊

大己貴神と崇敬して造る處なり

鳥井 島本作りと云四方の鳥井と云ふ本と作れん水

仁年間僧忍性天王寺の鳥井石と作りしより當社の

鳥井も元和の御造宮ニ今此石の鳥井と云ふ

神木橘 三韓より我朝へ貢げ奉る時橘と第一の貢と

ゼより此本は植て神本と云ふ 勘文ニ見たり

誕生石 三の本社の側 島津忠久出生の古跡なり 源將軍

賴朝土岐能貞の娘丹後局と寵愛し懷妊し政子方深く

妬み丹後局と失ひんとす 賴朝の臣平家基便がきと云ふ思ひ

をとり局と云て津の國に來る住吉の社に在る時局頻々

して産の氣色に見えられ奉多驚き禱と石上より打掛局と

居させ太神の祈誓して安産とす 終に産の紐易く

石誕生



解て一男を出せに其後建久元年十月言頼朝上治
の時奉多此事を以て詳言に頼朝奉多を称して其に
伊賀伊勢の二州を賜ふ同十三年大隅薩摩兩國をわ
て島津三郎忠久と号れと云

住吉和歌名所

住吉濱 住吉郡 住吉

住吉浦 同所より

住吉岸 同所より

新古今

住吉乃濱はちとけふむ田鶴

伊勢

後拾遺

住吉の浦風は吹ぬ

惠慶

拾遺

すくはきの藤浪をよの
すの梢の色とほ

兼盛

住吉里

捨遺 都

住吉

津の園

里

忠見



住吉水門

同所より

夫木

名残をたねうかたすうの

不知

住吉沖

同所より

後撰

住吉のきりぎりすの沖はふ

元輔

住吉岡

同所より

拾遺

すみれ園のねまうはれ

祐見

住之江

同所より

續千

あふのきりぎりすのねまう

俊成

住之江池

神田の南蘆原
とつるは是

夫木

あふのきりぎりすのねまう

慈鎮

浅澤

竜橋獨梁橋
のほろり

重兼

人ら浅澤の根井

中宮

浅澤野

大年社細江の
南東の里と
小野と

續千

あふのきりぎりすのねまう

為家



長居池

野寺村あり
一説云安倍野
街道の傍に池あり

堀川後百首

すつきの長舟の池より院て
のゝみち代乃影をうつる

常陸

長居浦

江川流海へ
の浦云興

新千

秋の夜よりなる浦よりなる
のゝみちを影をうつる

兼昌

長居濱

住吉郡あり

夫木

のゝみちを影をうつる
のゝみちを影をうつる

顯綱

長居瀨

同所あり

夫木

のゝみちを影をうつる
のゝみちを影をうつる

信實

名吳浦

同所あり

夫木

のゝみちを影をうつる
のゝみちを影をうつる

俊頼

名吳之瀨橋

同所

夫木

のゝみちを影をうつる
のゝみちを影をうつる

顯朝

名吳之江

手水橋之
下流あり

夫木

のゝみちを影をうつる
のゝみちを影をうつる

實清

名吳海

雄略天皇御宇漢
吳織田國あり海
に在る所の津あり
なる故に名吳と
なりし事と日
記あり

万葉
名吳乃海城あり
おほくも
まなれ



一の洲二の洲
三の洲
處へ今の安き
の北乃わきの内
とと散れ集
一の洲
くさくさ
うさ
すてきて
人こい
がとの外
あまの
けり
中て

一の洲二の洲
三の洲
處へ今の安き
の北乃わきの内
とと散れ集
一の洲
くさくさ
うさ
すてきて
人こい
がとの外
あまの
けり
中て

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

入ぬと
まゐる
のむ人
はらの
まゐる
まゐる
な

家
隆

浅香浦 遠里小野村の
前より海と云

浅香瀉 同右

細子海 住吉より十八丁
辰巳我孫村より

名越濱 住吉郡住吉より

名越森 同右

遠里小野 同右

御田 社地より

万葉
たふれを塩みち末かんはる乃
あさりの浦よまもかりてたの
き削手

万葉
浅きるの塩干乃ゆきあおては
うもつるを乃色よいくめや
不知

万葉
ゆきそとつる塩ははたの海乃
あし戯のうみは菜摘らふと女ら
不知

夫木
まよりあを過えよみゆり那
名越り塩よりとある白浪
為家

夫木
水を乃のやうの森乃ゆききん
さるるわさりととるわさるん
資隆

万葉
は名の遠里小野は小藤もて
とつる衣乃出りもさゆ

夫木
早苗の御田の植女もいづる乃
袖ゆて休てはけふかぬ
家隆

細江 長山の川
竜橋の小川

詞花
さきより

細江

さきより

さきより

さきより

相摸



雲散松原

安土町

あしあ

霞松原

すしう

おひし女

月

ゆめ

長



住吉乃淵

河内の國平尾山のふもとに大和川が流れて、そのほとりには住吉の淵がある。毎年三月三日の住吉の祭りの日には、多くの人がこの淵に集まり、水遊びをする。この淵は、昔から名水として知られており、今でもその水を飲む人は多い。



安倍野 東成郡住吉街道

證歌未考

岸松原 住吉郡住吉

忘貝

忘水

忘艸

一曰忍艸又曰水仙又曰青木香又曰山吹又曰拍又曰紫苑又曰唐芥子二似之 又曰萱艸又曰那忘艸と云有と

夫木

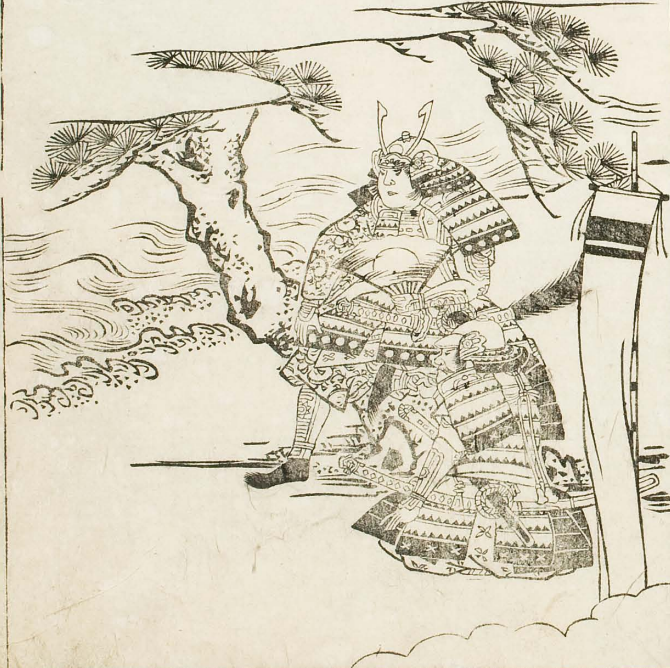
便宜水 其處不詳

古今 道志なるてはゆへに任のに乃 母新とてなりなりは外垣や ともなりけりなるや

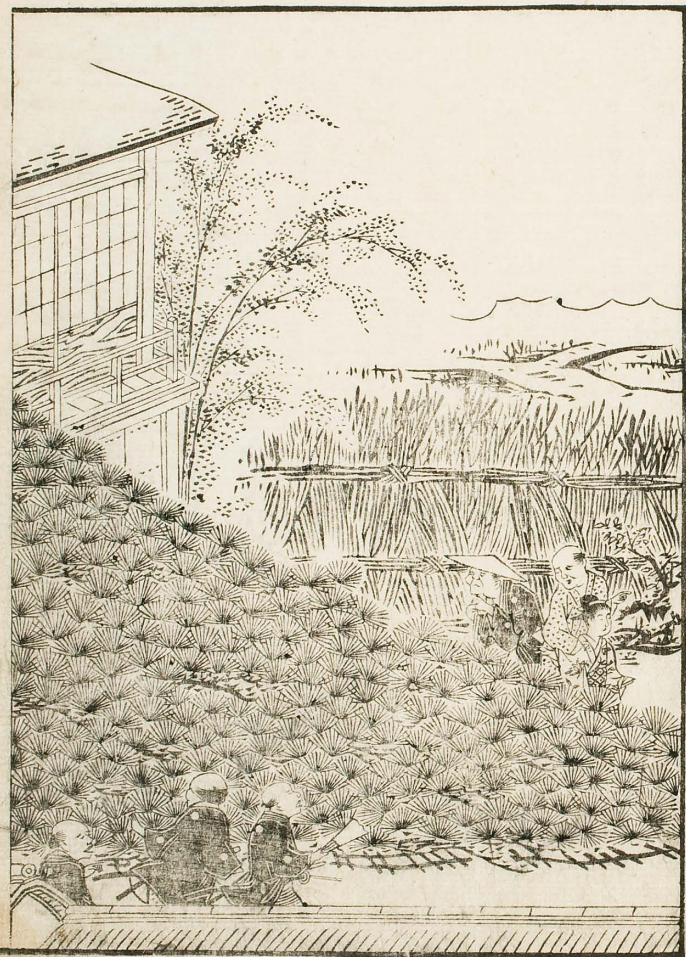
清輔

判官松 住吉江地

俗傳と曰源義経西國渡向の時當社乃神主親族なりとてて友よて此松樹は腰とて判官松とも又腰掛松ともいふと云







ふみくやの松
 あまの町乃にあり
 あまの町乃にあり
 似て枝とてさる事
 四かすの余百々
 けりけり生来の
 旅人富み立あり
 えんもの



松榮亭

社務の内より

樂人富士古跡

淺澤のほとり云傳

行基松

俗傳よりむ行基上人と泉州の産なり

安寓居してみつ植る處なりと

住吉名勝圖會卷之四終

武庫川女子大学附属図書館

04463933